



営農NEWS



夏まき葉菜類の育苗中および定植後における害虫の被害発生に十分注意してください

今年も梅雨明け後は、高温少雨が続いていましたが、台風 11 号の影響で、県内にも久しぶりにまとまった降雨があり、乾いた畑も一息つける土壤水分となりました。

産地では、これから栽培される葉物類の育苗や、本圃での肥培および栽培管理で多忙な時期になっていきます。

葉菜類の害虫防除として、現在、定植後のチョウ目害虫を主な対象に、育苗後期～定植前にセル成型育苗トレイなどに処理できる残効期間の長い薬剤が登場しており、これら薬剤を事前に処理しておくと、薬剤により持続期間は異なりますが、2 週間～1 か月くらい防除効果が期待できるようになっています。その後は害虫の発生に応じて、薬剤抵抗性害虫の出現を抑制するため、異なる系統の有効薬剤をローテーション散布することで、被害を減少させています。

一方、育苗中は年次によって害虫の発生時期や発生量が変わるため、防除が比較のおろそかにされる傾向があります。しかし、育苗中に高温が続きますと、害虫類の寄生が多くなり、注意していないと食害や寄生で思わぬ被害を生じてしまいます。このため、本圃に定植するまでは、十分な育苗管理に努めてください。

キャベツやハクサイ、ブロッコリーなどアブラナ科野菜に寄生、食害する害虫には、アオムシやヨトウムシ、コナガ、ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ウワバ類などチョウ目害虫やアブラムシ類などが重要で、特に育苗中には、アオムシ、ヨトウムシ、コナガ、ハイマダラノメイガ、アブラムシ類などの被害発生に注意が必要です。

レタスではナモグリバエ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ヨトウムシやアブラムシ類などが重要となります。

本年も育苗中は常に作物を注意して観察し、発生初期における薬剤防除を徹底してください。

【育苗中における病虫害防除のポイント】

- 1 育苗は事前に清掃や消毒をしておいた場所で行い、また、育苗中は出来るだけ清潔を保つように努めましょう。
- 2 育苗ハウスは、側窓や天窓など開口部に防虫ネットを必ず張って、害虫の侵入を防ぎましょう。
- 3 育苗中は適度なかん水に努め、過湿、過乾燥にならないように注意します。また、生育に応じて株のずらしや、通風、採光を良好に保って健苗な株を育てます。
- 4 育苗中は病虫害の発生を常に注意深く観察し、確認したときは早期に薬剤防除を行ってください。
- 5 育苗中に生育不良や病虫害の発生した株は、早期に育苗ハウスから持ち出してビニール袋内で腐熟させるなど適切に処分し、決して本圃には持ち込まないようにします。

表 1 主な夏まき葉菜類の育苗中に発生する主な害虫の防除薬剤（平成 26 年 8 月 15 日現在）

薬剤名（系統）	キャベツ			ハクサイ			ブロッコリー		レタス	
	アオムシ	ヨトウムシ	コナガ	アオムシ	コナガ	アブラムシ類	ヨトウムシ	コナガ	ハスモンヨトウ	ナモグリバエ
コテツフロアブル（－）	○	○	○	○	○		○	○	○	○
アクセルフロアブル（－）	○	○	○	○	○		○	○	○	
アニキ乳剤（マクロイト [®] ）	○		○	○	○			○	○	
パダンSG水溶剤（ネイストキソ [®] ）	○		○	○	○	○		○		○
トレボン乳剤（ピレスロイド [®] ）	○	○	○	○	○	○				
カスケード乳剤（IGR）	○	○	○	○	○				○	
モスピラン顆粒水溶剤（材コチノイト [®] ）	○		○	○	○	○		○		○
ラービソフロアブル（カーバメート）	○	○		○					○	

表 2 主な夏まき葉菜類の育苗期後半～定植時に苗処理または株元散布できる主な防除薬剤（平成 26 年 8 月 15 日現在）

薬剤名（系統）	処理方法	キャベツ	ハクサイ	ブロッコリー	レタス
プレバソフロアブル5（ジアミド [®] ）	セルトレイ等※への薬液灌注	○	○	○	○
プレバソン粒剤（ジアミド [®] ）	セルトレイ等※または株元への散布	○	○	○	○
ジュリボフロアブル（ジアミド [®] + 材コチノイト [®] ）	セルトレイ等※への薬液灌注	○	○	○	○
スタークル顆粒水溶剤（材コチノイト [®] ）	セルトレイ等※への薬液灌注	○		○	○
ダントツ粒剤（材コチノイト [®] ）	株元処理など	○		○	○
オンコル粒剤5（カーバメート）	株元処理など	○	○	○	○

注 1) ※印は、セル成型育苗トレイ 1 箱またはペーパーポット 1 冊（30×60cm・使用土壌約 3l）を略しました

注 2) 各薬剤の対象害虫および処理法は、作物により異なります。薬剤ラベル記載の内容で確認し、適切に処理してください。

農薬を使用する際は、ラベルに記載の登録内容、使用法、注意事項などを確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040